

# 年頭所感

あけましておめでとうございます。

新年を迎えるにあたり、皆様に所信を申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。

誠に残念ながら令和3年も引き続きコロナ禍の影響が長引き、新たな変異株が出現するなどマスク生活が長引く状況でした。その間、特に宿泊・飲食業の方にとっては、緊急事態宣言の発出と解除が繰り返されたこともあり、業況の変動が大きくご苦勞が大きかったものと推察します。それらのお客様に対し、当金庫は補助金申請支援などの本業支援に注力し、物心両面の支えになるべく努力を継続した一年でした。改めて役職員の奮闘に感謝するとともに、引き続き地域において一番に頼りにされる存在でありたいと念じている次第です。「疾風勁草」

私はこのような時期だからこそ、地域の持続可能性を求めて、SDGsの普及啓発に努めるなど信用金庫としての普遍的価値を追求したいと考えます。すなわち、預金をお預かりすることによる公共性と民間金融機関としての収益性の両立を図りつつ、会員組織、非営利組織、地域限定組織であることの特性を踏まえ、信用金庫としての原点に立ち返り、ポストコロナを見据えた新しい金庫像を創造する必要があります。その際に一番重要な視点は、すべての価値判断の基準を、会員を中心とした地域のお客様におくということだと考えます。

事業先に対しては創業支援、販売促進支援、事業承継、事業再生等の本業支援機能の強化に努めるとともに、そのサービスの対価として貸出金利息や手数料等を確保し、ボリューム中心の旧来型経営からの脱却と持続可能なビジネスモデルの構築を図り、金庫自身の持続可能性を高めます。特に事業承継、再生に関しては、当該お客様のみならず、地域の重要なネットワーク（取引先、従業員、顧客）が失われる危険性があり、重点的に対応する必要があります。

「お金をお貸しする前に知恵をお貸しする」

次に個人を含むすべてのお客様に対し顧客本位の業務運営を確立し、MA制度の活用や進化、各種セミナーを通じNISAやiDeCo等によるお客様の資産形成のお手伝いする提案や、社員の福利厚生を高める提案、キャッシュレス社会に対応するサービスの提供を行います。

「あんがと営業」

こうした新たなビジネスモデルの構築は短期間で達成できるものではなく、何より役職員一人ひとりが信用金庫としての原点と使命を心に刻み、自ら創意工夫して地域やお客さまの成長・発展に向けた金融仲介機能を着実に進化させていく心構えが不可欠です。

「森を育てる」

また、フィンテック業者の台頭や地域のデジタル化の進展に対しICTの戦略的活用を含め、顧客チャネルの多様化と金融サービスの充実など急速に進展するデジタルライゼーションへの対応は「金融変革期」において当金庫がスピード感を持って取り組むべき大きな課題です。

「時代の風を読む」

## － 理事長からのメッセージ －

以上を金庫一体となって進めるためには、何よりも「金庫を自分たちが主体的に運営している」「地域を私たちが支えている」という参加意欲を強く持つことが重要です。また、営業店をサポートする本部も、どのようなシステム、枠組みを整え運用すれば、世代間の意識の差を乗り越えて職員の意欲・熱意の向上につながるのか真剣に検討しなければなりません。

一方で資金の効率的運用や業務運営の効率性向上を目指す店舗網の見直しなど将来の状況を踏まえたヒト・モノ・カネの経営資源の再配置の検討は確実に進める必要があります。

また地域の労働力不足の進行を見据え、生産性向上のための業務改革・事務効率化を促進し経費の削減を確実にものにするとともに、厳格な審査、自己査定の実施、本業支援を含む適切な債権管理など不確実な経済状況に合わせた迅速な対応をとることも極めて重要です。

また以上の根底には、マネロン対応を含む法令等遵守に基づく適切な業務運営や強固なリスク管理体制の構築が必要であることは言うまでもありません。

こうした認識のもとスタートする令和4年は、そのメインテーマを

### 信用金庫としての原点回帰と新しい金庫像の創造 ～ 公共性・収益性の調和 ～

と定め、次の基本方針を掲げることといたしました。

#### 地域とお客様と金庫の持続可能性の追求

1. 金庫の活動に対し会員、お客様、地域からの共感を得られるように努める。
2. 事業価値の向上に向けた支援を通じ、地域の稼ぐ力の維持・向上に努める。
3. 地域におけるSDGsの普及啓発を図り、もって地域の持続可能性の向上に寄与する。
4. エンゲージメントの向上を図り、職員自らの成長意欲と仕事に対する熱意を醸成する。
5. 経費の削減と非資金利益獲得の強化および適切な債権管理に努める。
6. 全金庫的な法令等遵守態勢の確立と金融政策の変更を見据えたりスク管理態勢の高度化を図る。

役職員の皆様には以上のことを十分に理解され、主体性と自律性を持って、心ひとつに取り組まれることを希望します。すなわちこれは地域社会の課題に対し、皆が各々の立場で考え、専心行動することを意味します。

本年が、役職員とご家族の皆様にとりまして、幸福で最良の年であるとともにポストコロナの未来への希望の年となりますよう心から祈念し、年頭のご挨拶といたします。

令和4年1月4日

理事長 鈴木正俊